オーストラリア卓球チームを応援しよう

東京五輪に向けてホストタウン・西脇市が始動！

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催までおよそ2年。西脇市はオーストラリア卓球チームのホストタウンに決まっており、7月22日に事前合宿に関する協定を締結します。西脇市では今後、卓球に親しむイベントや、オーストラリア選手団との交流を計画しています。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる卓球を通じて選手団と交流し、共にオーストラリア卓球チームを応援しましょう。

■問合せ　生涯学習課スポーツ振興室（総合市民センター内／☎22-5996）

豪州との架け橋になっていただいた西村卓二監督

豪州卓球チームを招致

西脇市がオーストラリア卓球チームのホストタウンに名乗り出たのは、本市出身で東京富士大学卓球部の西村卓二監督に推薦していただいたのが始まりです。西村監督は平成16年に開催されたアテネオリンピックで、卓球女子日本代表を率いた卓球指導者。西村監督からオーストラリア卓球チームの招致を勧めていただいたことや、兵庫県が西オーストラリア州と姉妹提携を結んでいることなどから、本市はオーストラリアのホストタウンに名乗りを上げることとしました。

そして、平成28年12月に国の「ホストタウン」に登録。それ以降、オーストラリア卓球チームの招致活動を開始しました。

昨年4月には、オーストラリア卓球チーム代表候補のウエイド・タウンゼント選手とケイン・タウンゼント選手が来西されました。市は練習施設の総合市民センターや宿泊施設など、市内各所を案内し、合宿環境の良さを両選手にPRしました。

オーストラリア代表候補選手と卓球を通じて交流

また、滞在中には、総合市民センターで両選手に公開練習を実施していただきました。両選手は市内の学校に通う卓球部の児童や生徒たち、卓球クラブチームのメンバーなどと、卓球を通じて交流しました。

さらに同年5月には、事前合宿の招致に向けて、片山市長がオーストラリアのブリスベン市を訪問。同市にあるオーストラリア卓球協会を訪ね、ピーター・マリオット・オーストラリア卓球協会CEO（当時）に西脇市のホストタウン計画を紹介するなど、招致活動を進めてきました。

片山市長がオーストラリア卓球協会を訪問

昨年7月に吉報が届く

昨年7月にオーストラリア卓球協会から、本市が同国の事前合宿地に決定した旨の連絡が届きました。市を挙げてチームを受け入れる体制が評価されました。

今月22日に協定を締結へ

7月22日にスコット・ヒューストンCEOが来西され、西脇市とオーストラリア卓球協会は、事前合宿に関する協定を締結します。

総合市民センターで行う調印式では、市内の卓球協会などによる合同練習会や、西脇中学校吹奏楽部によるオーストラリア国歌の演奏などを予定。また、調印式に続いて、西村監督による卓球教室を開催します。

さらに、調印式に合わせて、西脇多可料飲組合の皆さんが、ご当地グルメが並ぶ「にしわき・たか　うまいもん市」を開催。一緒にオーストラリア卓球チームを歓迎しましょう（詳細は5ページに掲載しています）。

今後の主な交流計画

※変更する場合あり

H30	H31	H32
★調印式 ★歓迎イベント	★ボランティア研修会 ★事前合宿 ★選手との交流	東京五輪★ 応援イベント★

西脇市の今後の取り組み

「2020東京オリンピック・パラリンピック」では、多くの国々から選手や観客が日本を訪れます。大会の開催地や合宿の受け入れを行う自治体を「ホストタウン」と呼び、「ホストタウン事業」とは、大会に参加する国や地域の方々とスポーツのみならず、文化や教育などさまざまな分野で交流を図ろうとする取り組みのことです。

西脇市はホストタウンとしてオリンピック開催までの間に、オーストラリア卓球チームとの交流を実施するほか、元オリンピック出場選手による講演会などを予定しています。また、オリンピック・ビューイングなどの応援イベントも行う予定です（上図）。

本市では、健康をキーワードとしたまちづくりに取り組んでおり、ホストタウン事業を通して、スポーツによる健康づくりを進めていきます。卓球は高度なスポーツである反面、分かりやすいルールで、年齢に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オーストラリア卓球チームを応援し、選手と共に卓球を楽しみましょう。

オリンピックでの卓球競技

卓球の起源は19世紀終わり。イギリスの上流階級の間で流行していたテニスを、雨天時に室内で楽しもうと、食堂のテーブルをコートに見立ててテニスをまねたのが始まりと言われています。英語の「テーブルテニス」はこれから名付けられました。

国際卓球連盟は昭和元年に設立され、世界226ヵ国が加盟（平成29年現在）。国際スポーツ組織として、有数の加盟国数を誇っています。

卓球は昭和63年に開催されたソウルオリンピックから採用されました。当時はシングルス（男子／女子）とダブルス（男子／女子）の4種目でしたが、平成20年開催の北京オリンピックから男女シングルスと団体（男子／女子）の4種目が行われています。

2年後の東京オリンピック・パラリンピックでは、これらの種目に加えて、ダブルス（男女混合）が追加されることになっています。

東京オリンピックでの卓球には、16の国と地域が出場します。前年度に開催される6大陸での卓球選手権大会の優勝チームと、世界ランキング上位10ヵ国・地域が出場権を獲得します。

オーストラリアを知ろう！

豪州のシンボル「シドニー・オペラハウス」

◆概要

インド洋と太平洋に囲まれた面積769万2,024㎢、人口約2,460万人（平成29年6月現在）の南半球にある国。首都はキャンベラ。公用語は英語。

◆特徴

①面積は日本の20倍

南北に約3,700㎞、東西に約4,000㎞の広さで、面積は日本の約20倍。

②気候が大きく異なる

国土が東西南北に広いことから、オーストラリアの気候は熱帯性気候から冷温帯性気候まで5つの気候に属し、都市によって気候に大きな違いがあります。

また、大陸の中央部は砂漠気候に属し、砂漠地帯が広がっています。

③日本からおよそ7,000㎞

日本からオーストラリアの大都市・シドニーまで飛行機で約9時間。

④日本と経度が同じ

日本のへそを通る「東経135度」上にオーストラリアがあり、日本との時差はほとんどありません。

◆代表卓球チーム

オーストラリア代表卓球チームは、男女共に北京五輪（平成20年開催）、ロンドン五輪（同24年）、リオデジャネイロ五輪（同28年）に出場。同国はオセアニア大陸選手権で第1位の成績を収めています。

男子チームは世界ランキング第41位、女子チームは同第37位（日本チームは男子第3位、女子第2位）。

オーストラリア卓球チーム 応援イベント

7/6（金）7/13（金）7/20（金）7/27（金）

卓球練習場の無料開放

卓球経験の有無にかかわらず、お子さんから高齢者の方までどなたでも利用できます。

◆とき

7月6日（金）、13日（金）、20日（金）、27日（金）／いずれも午後1時～5時

◆ところ　総合市民センター　体育館

◆持ち物　ラケット、体育館シューズ

◆利用料　無料（事前申し込み不要）

◆問合せ

生涯学習課スポーツ振興室（総合市民センター内／☎22-5996）

7/22（日）

ホストタウン始動デー

ホストタウン調印式に合わせて、記念イベントを開催します。イベントに参加して、共にオーストラリア卓球協会を歓迎しましょう。

◆とき　7月22日（日）

◆ところ　総合市民センター

◆内容

①ホストタウン調印式（午前11時～）

・豪州卓球チームホストタウン調印式

・西脇中学校吹奏楽部による豪州国歌の演奏

②卓球フェスタ

・卓球団体による合同練習会

・西村卓二卓球教室

③にしわき・たか　うまいもん市（午前11時～午後8時／小雨決行）

本市と多可町のご当地グルメが集結します。

◆問合せ

・生涯学習課スポーツ振興室（総合市民センター内／☎22-5996）

・西脇多可料飲組合事務局（西脇商工会議所内／☎22-3901）

7/8（日）

講演会「健康卓球で日本を元気に」

一般財団法人卓球で日本を元気にする会が提案する「健康卓球」を紹介。健康卓球とは、高齢者や障害のある方に効果的な卓球の楽しみ方で、生涯スポーツとしての卓球の可能性をお話しいただきます。

◆とき　7月8日（日）午後2時～4時

◆ところ

茜が丘複合施設みらいえ　多目的ホール

◆テーマ　健康卓球で日本を元気に

◆講師

一般財団法人卓球で日本を元気にする会代表兒玉圭司さん（株式会社スヴェンソン代表取締役会長）＝写真

◆参加費　無料（事前申し込み不要）

◆問合せ

生涯学習課スポーツ振興室（総合市民センター内／☎22-5996）

8/11（土・祝）8/12（日）

写真提供＝東京都／Tokyo2020

東京2020オリンピック・パラリンピック　フラッグツアー

◆とき

8月11日（土・祝）～12日（日）午前9時～午後9時（12日は午後5時まで）

◆ところ

茜が丘複合施設みらいえ　ビューループ

◆主催

東京都／公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会／公益財団法人日本オリンピック委員会／公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

◆問合せ

生涯学習課スポーツ振興室（総合市民センター内／☎22-5996）